

いつもやさしさと愛情 感謝の心

“皆さんお元気ですか”

さわやかな秋晴れの日々が続くこの頃、お健やかに過ごしのことと存じます。

今年の四国地方は、梅雨が長く9月には集中豪雨で上空に線状降水帯が海部郡3町で発生し、観測史上最大となる激しい雨に見舞われ多くの住民に浸水被害が及びました。地球温暖化の影響でしょうか。

災害が予想される時は、事前に天気予報を把握して一刻も早めに避難し命を守る行動をとってください。

次に新型コロナウイルスの影響で、昨年からの延期されていた、東京オリンピック・パラリンピックが「感動」で、私たちは一つになる「スローガ」で7月23日に開幕し、世界のアスリートが日本に集まり、私達に「勇気と感動」を与えてくれ、無事に9月5日に終了いたしました。

期間中の観戦で私達はテレビの前に釘付けになり応援しました。

中でもパラリンピックの種目の多さに驚きました。ポッチャという競技を見て車イスの選手がメダルを取り頑張る姿に感動しました。

私達のいる施設は、高齢者が普段ポーチング投げ、輪投げ等で楽しんでおります。

今後新しい試みで、ポッチャの競技を施設で取り入れていけばと考えております。

さらに、国政においては、安倍元首相から引き継いだ菅首相が一年で退任し、新たに自民党総裁選挙が行われ岸田総裁が誕生いたしました。

新しい総理大臣に求めるのは「新型コロナウイルス対策」を最優先に、「国政の安定と国民の幸せ、夢と希望が持てる平和な国づくり」を目指してもらいたいと切望いたします。

「民話」

兵火を逃れたセンダン

西条の一条神社境内に、回り二丈(六メートル余り)、高さ一八間(三二メートル) 樹齢四五〇年(大正三年調査)という大きいセンダンがあった。この木は、天正年間四国兵乱のおり火災にあつて社殿、古書、宝物などごとごとく灰になった時、この木だけ火をのがれたという言い伝えがある。現在、一条神社境内には大きいクスノキが数本生えているが、センダンはない。忠魂碑の北側にセンダンがあったと地元の人々の話である。(阿波名木物語)

南海丸遭難事故 (63年前)

南海丸遭難事故は、一九五八年(昭和33年)に発生した海難事故である。悪天候の中出航したため、時化が原因で転覆・沈没したのは間違いないが、生存者が1人もいないため詳細は不明である。

一九五八年(昭和33年)1月26日の17時ごろ、徳島地方気象台は強風注意報を出したが、紀阿連絡航路の南海汽船(後の南海フェリー)所属の旅客船「南海丸」は、17時30分頃に和歌山港(和歌山県和歌山市)へ向け小松島港を出航した。

同日18時28分ごろに無線電話で危険を知らせる連絡を最期に消息を絶った。当時、南海丸がいた紀伊水道の沼島付近は平均風速17ないし20メートル、平均波高4ないし5メートルの悪天候であったものと推定されたため、直ちに僚船や海上保安庁の巡視船らによる救助体制がとられた。

翌日の1月28日の16時ごろ沼島の南西(2.4海里)の水深約40メートルに沈没している船体が発見された。その後船体は引き上げられたが、旅客139名、乗組員28名、の**167人全員が死亡もしくは行方不明**となる大惨事になった。

おそらくは台風並みに発達した低気圧による時化で沈没したのではないかとされている。

当時の私は、毎日ラジオで犠牲者の名前が繰り返し報道されていたのが忘れられません。(気象衛星のない時代)犠牲になられた方々に黙祷。

(2.4海里:約4.4キロメートル)

(沼島は淡路島の南東の方角で徳島市から約30キロあまり東の離れ島。)
(南海丸は昭和31年に竣工した新しい船舶で乗客定員は444名)



一条神社西側に建立されている忠魂碑

今月の俳句

隣り合う
赤きパラソル コンバイン
三木 光風

吉野俳句同好会

五月の連休前後に植えられた稲は、八月末か九月には稲刈りが始まります。その頃はまだ残暑が厳しく日除けをしなければ耐えられませんが、最近の稲刈りは、全てコンバインによって刈り取られます。コンバインの座席に赤いパラソルを立てることが多く何台ものコンバインが一斉に黄金の波の中で働く光景は圧巻と言えます。この農家の人々の努力が私達の日常の食生活を支えてくれています。

昔懐かしい風景



松茂に集結した白菊隊の戦闘機

白菊隊とは特攻隊で、これらの戦闘機はすべて敵艦に突入していった。特攻隊員の中には「水戸黄門」の黄門役で有名な俳優、故西村晃がいた。西村は海軍飛行予備学生第14期で徳島航空隊に配属。数回特攻に出撃したがスクール等で基地に帰還。(56名が戦死) (白菊は練習機なので最高速度は230kmながら、250kg爆弾を両翼に懸架すると150~160kmとなり零戦の3分の1で無線は隊長機のみ搭載で戦果は米軍戦果から判明するのみ。)

たった一言が
人の心を傷つける
たった一言が
人の心を暖める



絵手紙講座 福田信行先生作品「すいかもも」